

株主メモ

- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
- 証 券 コ ー ド 4119
- 単 元 株 式 数 1,000株
- 事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定 時 株 主 総 会 6月中
- 基 準 日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 単元未満株式買取手数料および買増手数料
無料
- 公 告 掲 載 方 法 電子公告といたします。
当社ホームページアドレス
<http://www.pigment.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

【株式に関するお手続きについて】 ○証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ ご照会の内容	○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定 等
留意事項	未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

○特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
手続用紙の ご請求方法	音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
お手続き・ ご照会の内容	○特別口座から一般口座への振替請求 ○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定(*) ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。 売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選びいただけません。

株主のみなさまの声を聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社は、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で贈贈(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4119

いいかぶ

検索



空メールにより URL 自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media (イー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp/>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900 (平日 10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

Pigment

日本ピグメント株式会社

〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号

TEL. 03-3258-1412 FAX. 03-3258-1418

<http://www.pigment.co.jp/>



この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインキを使用してあります。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

世界を彩る、日本ピグメント

暮らしに色があるかぎり、

わたしたちは、提供しつづけます。

Pigment

日本ピグメント株式会社

証券コード：4119

経営理念

私ども日本ピグメントは、次の4つの理念を使命として、色彩関連製品を提供するとともに、人と自然環境の融合を理念においた製品作りを目指しております。

経営理念

1. 色彩を通じて、ゆとりのある生活をみなさまに提供し、社会の繁栄に寄与します。
2. グローバリゼーションの中で、地域社会との調和と共生を目指します。
3. 技術革新・サービス向上に努め、お客様のニーズに合った環境に配慮した高品質の製品作りを目指します。
4. 個性溢れる人材を育成し、創造性豊かで活力のある企業集団を目指します。

トップインタビュー

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社グループは、企業価値向上に向けて今後とも全力を尽くしてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

取締役社長 **加藤 龍巳**



第78期上期の業績と 経営環境について教えてください。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、第1四半期においては日銀による金融緩和や政府の各種経済対策の効果が発現するなかで、株価の回復や円安基調等、景気回復の兆しが見えつつありましたが、第2四半期に入りその回復傾向が顕著になりました。当業界におきましても第2四半期以降、自動車産業向けを中心に堅調に推移しました。

このようななか当社グループは、第1四半期は在庫調整の影響を受け、第2四半期は一部自動車産業向け及び建材産業向けが堅調に推移したものの、家電産業向けは在庫調整等の影響もあって依然として販売が振わず、また、東南アジア地区の販売は予想を若干上回りましたが、全体としては事業環境に厳しさが残る状況となりました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は20,092百万円（前年同四半期比2.0%増）となりましたが、経常利益は、国内においては高付加価値製品の販売数量の低下、また、海外においては、インドネシア第二工場建設に伴う追加工事費用の発生などから154百万円（前年同四半期比56.7%減）となり、四半期純利益は157百万円（前年同四半期純損失9百万円）となりました。



下期の見通しを教えてください。

日本国内は、下期にかけ更なる景気回復が期待され、また、消費税の増税に伴う駆け込み需要も予想されており、自動車、建材産業向けに受注が好調に推移すると期待しております。また、東南アジアでは、インドネシアを始め、自動車関連向け需要が比較的堅調な中、輸出関連の受注も堅調に推移する見込みです。

当社グループにおいては、引き続き生産効率の向上などの合理化の推進に取り組むとともに、高付加価値製品の拡販、海外での需要の補足に努め、業績予想を達成できるよう努めて参ります。

連結財務諸表

●財務ハイライト

国内においては高付加価値製品の販売数量の低下、海外においては、インドネシア第二工場建設に伴う追加工事費用の発生などから、増収、減益となりました。



●四半期連結貸借対照表（要旨）

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期末 2013年9月30日現在	前期末 2013年3月31日現在
資産の部		
1 流動資産	13,787	12,709
2 固定資産	11,832	11,499
有形固定資産	8,497	8,467
無形固定資産	69	67
投資その他の資産	3,266	2,965
資産合計	25,619	24,208
負債の部		
3 流動負債	11,064	10,567
4 固定負債	3,499	3,207
負債合計	14,563	13,775
純資産の部		
株主資本	10,112	10,082
資本金	1,481	1,481
資本剰余金	1,047	1,047
利益剰余金	7,598	7,567
自己株式	△14	△14
その他の包括利益累計額	182	△333
少数株主持分	761	685
5 純資産合計	11,056	10,433
負債純資産合計	25,619	24,208

Point.1 流動資産について

流動資産は13,787百万円と前期末の12,709百万円に比べ1,077百万円の増加となりました。この主な要因は受取手形及び売掛金が615百万円、製品、原材料及び貯蔵品が452百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

Point.2 固定資産について

固定資産は11,832百万円と前期末の11,499百万円に比べ333百万円の増加となりました。この主な要因は投資有価証券が344百万円増加したことなどによるものです。

Point.3 流動負債について

流動負債は11,064百万円と前期末の10,567百万円に比べ497百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が521百万円増加したことなどによるものです。

Point.4 固定負債について

固定負債は3,499百万円と前期末の3,207百万円に比べ291百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金303百万円増加したことなどによるものです。

Point.5 純資産について

純資産合計は11,056百万円と前期末の10,433百万円に比べ622百万円の増加となりました。

連結財務諸表

●四半期連結損益計算書（要旨）

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期累計 自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日	前第2四半期累計 自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日
売上高	20,092	19,690
売上原価	18,545	18,024
売上総利益	1,547	1,666
販売費及び一般管理費	1,413	1,347
6 営業利益	133	318
営業外収益	124	102
営業外費用	104	65
経常利益	154	355
特別利益	19	0
特別損失	3	316
税金等調整前四半期純利益	170	39
法人税、住民税及び事業税	40	133
法人税等調整額	△26	△23
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	157	△69
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△60
7 四半期純利益又は四半期純損失(△)	157	△9

Point.6 営業利益について

営業利益は、国内においては高付加価値品の販売数量の低下、また、海外においては、インドネシア第二工場建設に伴う追加工事費用の発生などから133百万円となり前年同四半期に比べ185百万円の減少となりました。

Point.7 四半期純利益又は四半期純損失について

四半期純利益は、157百万円となり前年同四半期に比べ166百万円の増加となりました。前年同四半期は特別損失として関係会社整理損失等を計上しておりました。

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期累計 自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日	前第2四半期累計 自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日
8 営業活動による キャッシュ・フロー	△102	479
9 投資活動による キャッシュ・フロー	△325	△474
10 財務活動による キャッシュ・フロー	298	△343
現金及び現金同等物に 係る換算差額	115	33
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△13	△305
現金及び現金同等物の 期首残高	2,779	2,518
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	△6	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,759	2,213

Point.8 営業活動によるキャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の支出は102百万円となりました。これは、売上債権および棚卸資産の増加等によるものです。前年同四半期連結累計期間は資金の収入が479百万円でした。

Point.9 投資活動によるキャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の支出は前年同四半期連結累計期間と比べ149百万円減少し、325百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が前年同四半期連結累計期間と比べ105百万円減少したこと等によるものです。

Point.10 財務活動によるキャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の増加は298百万円となりました。これは、主に金融機関からの借入の増加によるものです。前年同四半期連結累計期間は343百万円の減少でした。

セグメント別概況

日本

国内では、自動車産業向けや建材産業向けが堅調に推移したものの、家電産業向け等での在庫調整の影響も残り、全体としては非常に厳しい状況となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,310百万円(前年同四半期比6.1%減)となりましたが、高付加価値製品の販売数量の低下などにより26百万円の営業損失(前年同四半期営業利益106百万円)を計上することとなりました。

東南アジア

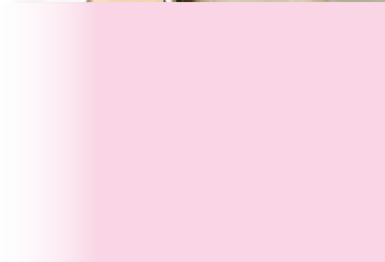
東南アジアは、シンガポールを中心に車両関係需要が堅調で、円安の影響もあって、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,460百万円(前年同四半期比14.9%増)となりました。一方、営業利益は、第1四半期におけるインドネシア第二工場建設に伴う追加工事費用の影響等から163百万円(前年同四半期比25.6%減)となりました。

その他

その他は、中国での日系自動車関連の緩やかな回復を受け、第2四半期以降、黒字基調に転じており、当第2四半期連結累計期間の売上高が321百万円(前年同四半期比14.7%増)、営業損失は3百万円(前年同四半期営業損失7百万円)となりました。

各部門別の概況

部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けや建材産業向けが堅調に推移しました。樹脂用着色剤部門は、自動車産業向けや建材産業向けが堅調に推移したものの、家電産業向けの在庫調整の影響から全体としては低調な結果となっております。最後に、加工カラー部門は、自動車産業向けは販売が伸び悩んだものの、建材産業向けは回復傾向が見られました。



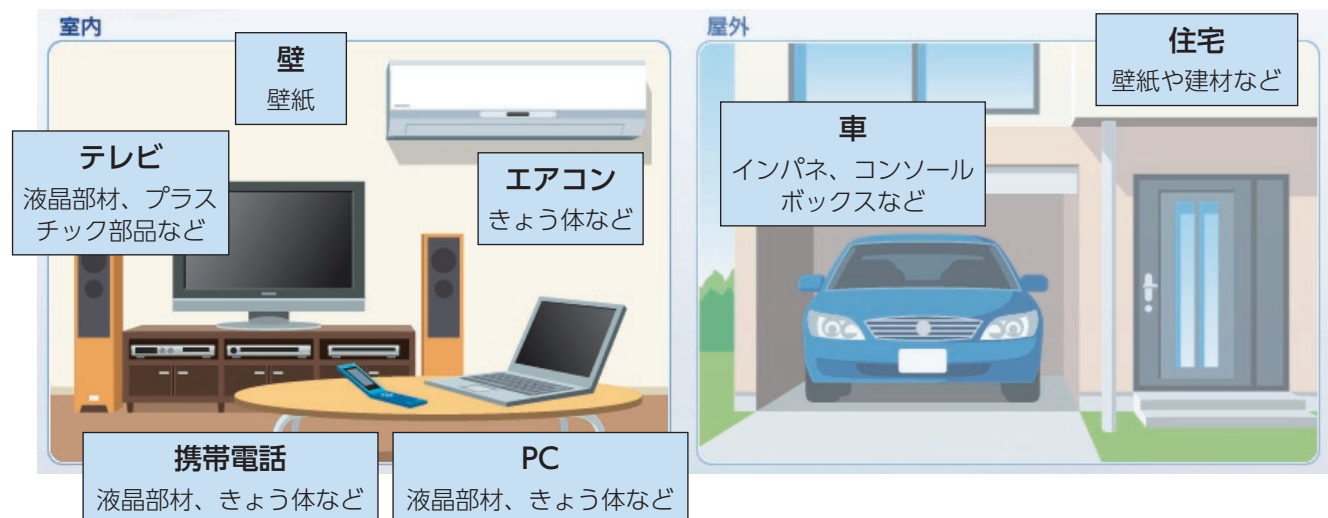
日本ピグメントを知る どのように貢献しているの？

みなさまに日本ピグメントをより良く知っていただくため、当社製品の用途・事業内容・特長などを、わかりやすくご紹介いたします。

日常のいたるところに日本ピグメントの色彩があります。

当社は、プラスチックの着色加工分野において、長年にわたり蓄積されたコアテクノロジーである独自の配合・分散・生産技術を有し、この高い技術力で業界では国内トップレベルのメーカーとして事業展開しています。

当社の事業領域であるプラスチック製品は生活の身近なところに使われており、電化製品（テレビ、エアコン、掃除機など）、OA機器（パソコンモニター、キーボードなど）、自動車の内外装（インパネ、バンパーなど）、携帯電話、化粧品・トイレタリー・食卓上の容器など、数え切れないほどのものがあるように、当社の技術は、暮らしのあらゆるところに貢献しています。



“豊かな色彩とゆとり” を、日常生活のあらゆる場面に提供しております。

私ども日本ピグメントは、“色”の専門メーカーとして、創業以来、日常生活のあらゆる場面で“豊かな色彩とゆとり”を提供しております。私たちの身の回りには、自動車、家電、OA機器、日用品、化粧品など数え切れないほどのプラスチックを使った製品があります。

当社は主に、樹脂コンパウンドの分野でプラスチックの成形用材料や着色剤の提供を行っております。当社のカラー技術は、それらの製品にとって、機能・デザインともに重要な役割を担っております。

会社の概要（2013年9月30日現在）

●概要

- 会社名 日本ピグメント株式会社
(Nippon Pigment Company Limited)
- 本 社 東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号
所在地
- 代表者 取締役社長 加藤 龍巳
- 創 業 1925年(大正14年)
- 事業内容 樹脂コンパウンド……プラスチック成形用材料
樹脂用着色剤……………プラスチック着色剤
加工カラー……………塩化ビニール着色剤等
ピグメントカラー……塗料用、印刷インキ用等
- 資本金 14億8,115万円
- 株 式 東京証券取引所市場第二部上場

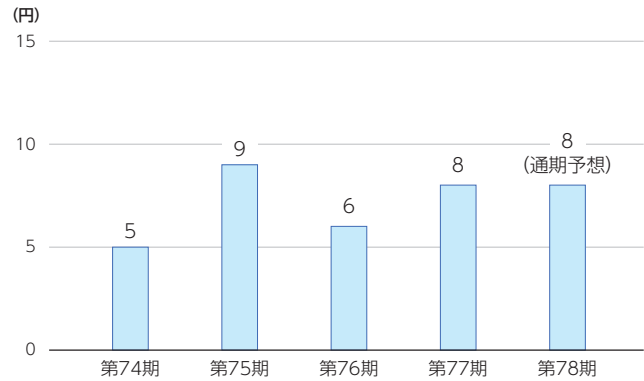
●国内拠点・海外拠点

- 本社・営業部門
 - ・本社(東京都)
 - ・東京支店
 - ・大阪支店
 - ・名古屋支店
- 生産部門
 - ・埼玉川本工場(埼玉県)
 - ・大阪工場(大阪府)
 - ・東京ピグメント(株)(埼玉県)
 - ・ニッピ化成(株)(埼玉県)
 - ・名古屋ピグメント(株)(愛知県)
 - ・大阪ピグメント(株)(奈良県)
- 海外
 - ・Nippon Pigment (S) Pte. Ltd. (シンガポール)
 - ・Nippon Pigment (M) Sdn. Bhd. (マレーシア)
[Head Office and Shah Alam Plant]
[Penang Plant]
 - ・P.T.Nippisun Indonesia (インドネシア)
 - ・天津碧美特工程塑料有限公司(中国)
 - ・NPK Co.,Ltd. (韓国／持分法適用関連会社)
 - ・上海新素材特種聚合物有限公司(中国／持分法適用関連会社)

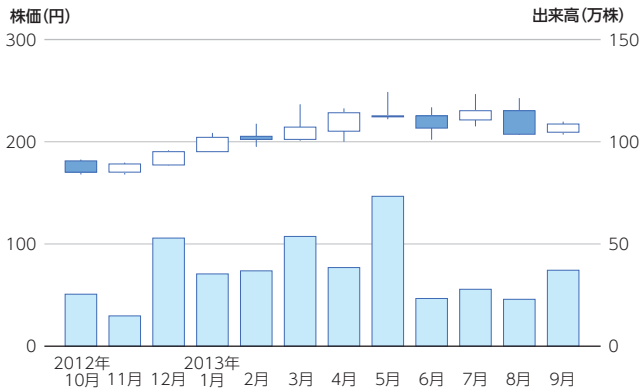
株式の概要 (2013年9月30日現在)

●株式の状況

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式総数 15,758,994株 (うち自己株式48,205株)
- 株主数 1,902名
- 配当金の推移



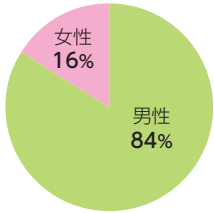
●株価チャート(月足)



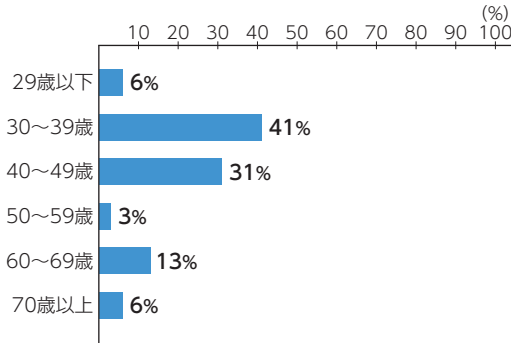
株主アンケート結果

当社では、第77期報告書送付の際に、株主様向けアンケートを実施いたしました。アンケートの結果について抜粋してご報告いたします。

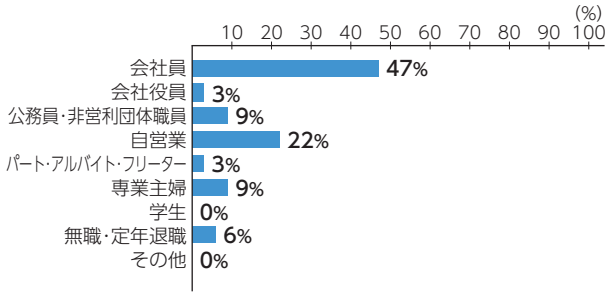
●あなたの性別をお知らせください。



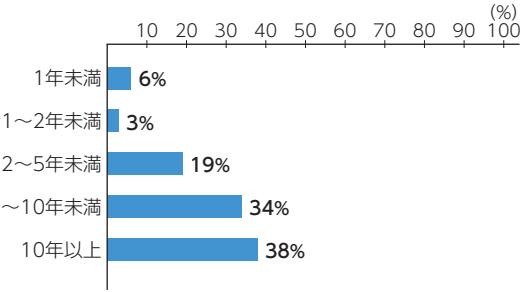
●あなたの年齢をお知らせください。



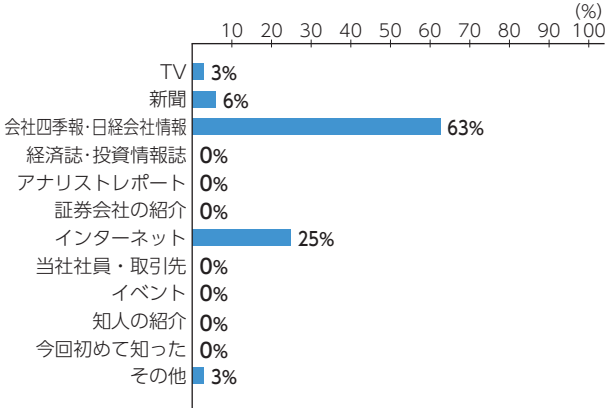
●あなたのご職業をお知らせください。



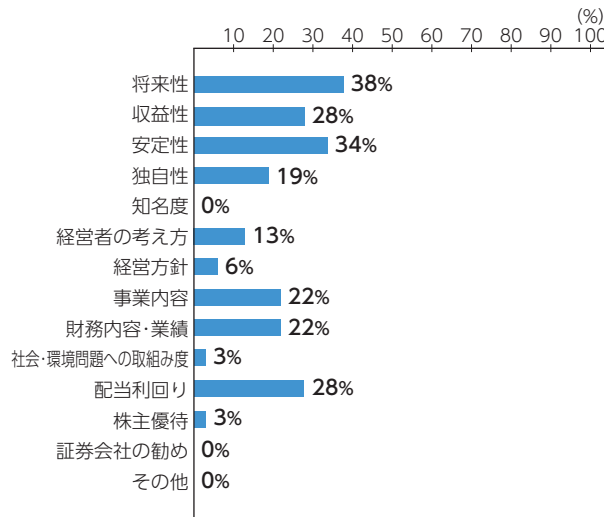
●あなたは株式投資を始めて、どのくらいになりますか。



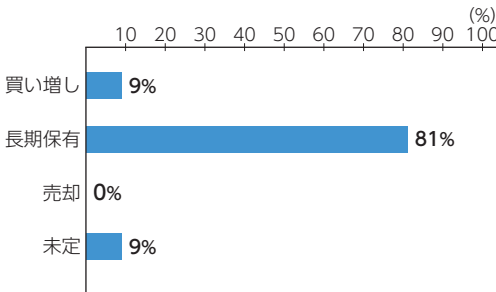
●あなたは当社をどこでお知りになりましたか。



●あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。



●あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。



このたびは、アンケートにご回答いただきまして、ありがとうございました。あらためて御礼申し上げます。
今回いただきましたご回答を、今後の参考にさせていただきます。